

## CONTENTS

① コラム

② ご案内

I'm really into this!!

# 私、これにはハマっています!!



ニュージーランド出身さいたま市在住12年、3児のママのジェシカ・ゲリティーさん「私、これにハマっています」は弓道です。ジェシカさんは埼玉県PR活動を行う『ラブ埼玉アンバサダー』としても活躍中です。

弓道を始めて3年、現在は弐段(二段)を取得してさいたま市浦和駒場体育館弓友会に所属しています。

10年ほど前、大宮公園へお花見に行った時、公園の敷地内にある道場で『弓道』を発見しました!

そこは緑に囲まれた美しい道場で、弓を引いている方々の姿を見て“癒し”を感じたのがとても印象的でした。

実は幼い頃から、武器に興味があって、パイレーツやロビンフッドのまねをして、おもちゃの弓や剣で遊んでいました。

お花見から帰ったら、“ジャパニーズアーチェリー”を検索したところ『弓道』という言葉を知りました。

それから弓道を始め、あっという間に3年が経ちました。今でも、弓を楽しく引いているのは所属道場の先生や道場のメンバーの皆さんのおかげです。そして、受け入れていただいた心優しいさいたま市民の方々に感謝です。

駒場の道場では年齢層が広く、高校生の方から最高年齢が92歳の方までと色々な方が弓を楽しんでいます。武道としても一生続けられる弓道はとても魅力があります。



Photo by 奥野浩次

大好き!

SAITAMA

さいたま



Ximena Rei Arreola Fukawaさん  
(メキシコ) ヒメナレイ アレオラ フカワ



3年前、仕事で来日したヒメナ レイ アレオラ フカワさん。メキシコでは日本語教師をしていたが、ある企業の招待で来日し、現在は部署長として活躍中です。来日当初、『日



▲友達と大宮にて(ヒメナさん写真右から2番目)



▲初めての和牛寿司にビックリ!!

本人は相手のことを常に考えてから行動している感じで戸惑いました。もっとフランクに向き合っても良いのではないか?』と感じたそうです。寺社巡りが好きで、御朱印を集めています。『御朱印、良いですね♥』と笑顔のヒメナさん。氷川神社も好きだそうです。日本の伝統文化にも興味があり、『書道や茶道に、もっと触れたい!!』とのこと。今は新型コロナの影響で書道や茶道教室の生徒募集をしていないのが残念です。国際交流ボランティアにも興味があり、ぜひやってみたいと、何事にも前向きにチャレンジしたいと目を輝かせていました。



今回はイベントやIEC newsの編集スタッフでもご活躍いただいている寺田晴好さんのお話です。

5年前の退職後、さいたま観光国際協会国際交流センターの“ボランティア活動”を知り、興味を持ち登録しました。「退職したら好きなことを好きな時に出来る!」、JICAの海外協力隊もあるけど、「日本に居ながら、海外の人達と接する機会が持てるなら」と思い、『IEC NEWS編集スタッフ』、『国際友好フェア』、『さいたま



▲はじめましての会にて(寺田さん写真左)

市外国人による日本語スピーチ大会』、『はじめましての会』等、積極的に参加してきました。その場で初めて会う外国の人たちと、英語・仏語・タイ語・中国語などの様々な国の言葉を交えて、教え・教わる愉快的体験です。又、一緒に参加しているボランティア同士と活動を進める中で生まれる、新しい交流はこの活動ならではの産物といえます。

これからもボランティア活動と共に、大好きなスポーツ観戦(特にラグビー)・国内外の観光・読めなかった文学全集や歴史に触れる等など、人生を楽しみたいと思っています。先が未だ見えないコロナ禍の中、新しい型のボランティア活動をして行きたいと想い描くこの頃です。



▲2019ラグビーワールドカップ熊谷にて

Volunteering is fantastic!!

# 英国留学体験談



田中梨奈さん

ウェンブリースタジアムで  
サッカー観戦



昨年9月から約1年間、英国イングランドに留学しました。日本の大学では日朝韓の国際関係について学んでいます。その中で歴史問題についての議論がなされる際、お互いの利害が先行して問題の本質が見えなくなることがよくあります。その問題を本質から問い直し、日本の島国という特性を比較するため、植民地の歴史をもち、地政学的に多国の中心にある英国渡航が魅力的でした。また、語学の点からも米国・豪州には滞在経験があったので、より個人的な国際感覚を養う意味でも英国が私にとって好条件でした。

留学中に一番感じたことは、日本と違ってアメリカ・ヨーロッパ・アフリカ大陸、旧植民地を考えさせられる多様性です。ロンドンで生活していたこともあり、ビジネス・アート・食文化・宗教と多くの場面で、目まぐるしく世界に触れる瞬間が何度もありました。個々人が持つバックグラウンドや価値観が違うという前提があるからこそ、英語

の上手い下手に関係なく、親身に興味を持って私の話を聞いてくれる人々の姿勢が印象的でした。それぞれ自分の背景に誇りを持ち、相手にもジェンダーや宗教といった差にとらわれず、人間として尊重し合う雰囲気はとても居心地がよかったです。地政学的にお互い遠い存在として、日本、英国の長所に惹かれ合う側面もあります。一方で、英国も国際的故に国内の問題に悩まされている現地の学生の声を聴くこともありました。ワークライフバランスを尊重するが故に、ロンドンで働く人々の仕事の遅さに苛立ちを覚えることもありました(笑)。それによってある意味自分のタスクに対する心の余裕も生まれました。留学終盤、コロナ禍で不安もありましたが、改めて多様性を前提とした人と人で尊重し合うことの重要性を学びました。



ジョンソン首相のコロナ対策への批判アートの前で



Brexitが年内に成立する可能性があった議会にて  
(田中さんは写真左)



## ボランティア登録制度

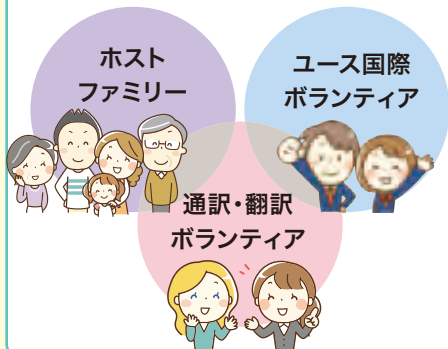
当センター(IEC)では、多くの方々にボランティア登録をさせていただき、様々な分野から国際交流・協力事業のお手伝いをしていただいています。国際交流・協力事業に興味のある方、ご協力いただける方は、ぜひご登録下さい。

各登録用紙は  
こちらからDL



国際交流センター(International Exchange Center)のボランティア

### IECボランティア



### IECボランティア

交流会や研修会など各種イベントの準備・運営、および各国の文化紹介。

- 文化紹介・イベント受付・司会
- 会場設営・チラシ発送業務

### 通訳・翻訳ボランティア

海外訪問団来日時のアテンド通訳や、市内公的機関の窓口における通訳および翻訳。

### ホストファミリー

姉妹友好都市訪問団の受入、日本語国際センター研修生のワンナイトステイ、外国人留学生のホームビジットなど、様々な形でゲストとの交流を深めています。

### ユース国際ボランティア

ユース世代(10代~大学生)の方々に「国際友好フェア」や「ボランティア養成講座」をはじめとする様々なイベントで活躍していただいています。

告知 19th

～さいたまに来て、見て、感じて～

# さいたま市外国人による日本語スピーチ大会

日時 令和3年2月6日(土) 13:00～

**今年は無観客!**  
世界へインターネットLIVE配信で開催

テーマ 『Stay Homeで見つけた幸せ』



昨年度の集合写真

チャンネル登録で見逃しなく!!  
『さいたま観光国際協会』チャンネル  
Saitama TIB



## おしゃべりサロン 参加者の皆様へ



現在おしゃべりサロンを一部再開しました。  
以下のことに留意いただき参加をお願いします。


- 体調が少しでもすぐれないと思われる方は、参加をご遠慮ください。(喉の痛み、咳、発熱、倦怠感、腹痛等)
- 事前にご自宅で検温
- 筆記用具の持参
- マスクの着用
- こまめに手指の消毒
- 参加記録確認書の記入(参加ごと、毎回)
- 使用された椅子、机等を個々に消毒していただきますようお願いいたします。

1月以降のスケジュールはHPをご覧ください。





新型コロナウイルスの影響で予定が変更することがございます。

### 多言語生活情報誌 「ぷらら」 発行事業



さいたま市に在住、在学、在勤の外国人向けの生活情報誌「ぷらら」を紹介します。

本誌は、英語・スペイン語・中国語・韓国語・日本語の5か国語で生活、医療、防災、観光、日本の慣習など広範囲の生活関連情報をお知らせしています。6月は市内のボランティア日本語教室案内、7月、9月、12月、3月にはその時期に合わせて、緊急時(台風等)対応、市内バスの利用法、健康・予防接種情報、冠婚葬祭、グルメ紹介など、身近な情報をお届けしています。本誌は、市内の図書館、公民館、コミュニティセンターで入手できます。バックナンバー等の情報は、ホームページでご覧になれます。



### 編集後記


そんなスタッフの独り言 川柳

気が付けば12月、師走。もうすぐ新年を迎えます。今年は新型コロナで大騒ぎ、予定していたイベントは全て中止の憂き目に。このため、IECニュースも初めての休刊となり、皆様にはご心配、ご不便をおかけしました。

ここに来て、ようやく一部の事業が開催されました。

今まで以上に、元気あふれる皆様のご活躍をお伝えしたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

書けました寝られませんでした夢の中  
読み直し我にも分らず首ひねる  
コロナ禍で川柳とだけ仲良しに




## 公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)  
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL https://www.stib.jp/kokusai

